

海 洋 概 報

平成 17 年第 6 号

2005 年 12 月

第一管区海上保安本部

1 調査概要

1.1 目的

我が国の管轄海域における海況把握を行うため、巡視船による海流観測及び水温観測を実施すると共に、海難救助等における漂流予測の精度向上のための基礎資料となる流況の収集・解析を行うため。

1.2 調査区域

北海道南東方海域(図1のとおり)

1.3 調査期間及び経過概要

(1) 現地作業期間

観測期間 平成17年9月6日から9月7日までの2日間

(2) 経過概要

平成17年9月6日：釧路港出港

平成17年9月7日：釧路港入港

(計画は9月6日～8日であったが、台風14号接近に伴いst.1-st8を中止した。)

1.4 調査方法

調査方法等は以下のとおり。

(1) 海流観測

機 種：古野電気株式会社製 音波ログ(CI-20-H)

観 測 層：海面下10・50・100mの3層

(2) 水温観測

機 種：鶴見精機株式会社製 投下式水温深度測定装置(XBT MK-130)

観 測 層：海底までの連続水温(プローブはT-6(460m)を使用)

1.5 使用した船舶又は航空機の種別又は名称

釧路海上保安部所属 巡視船「いしかり」

2 調査結果

流況を図2.1～図2.3に、水温水平分布を図3.1～図3.5、鉛直分布を図4.1から図4.2に示す。

また、表1に、XBT・ADCP観測成果を示す。

2.1 流況

陸岸沿いに、1knot前後の南西流であった。

表面を除く各水平分布図からは、沿岸で高く沖合いで低くなっており、水温場から圧力傾度が沖合方向に向いており、ここからも陸岸に沿った安定した流れが存在することが分かる。

2.2 水温

親潮（100m5 を指標とした）は、陸棚斜面より沖合にある。また、st.9 付近には暖水があるが 50m 層付近まで根がないことから、小規模な孤立した水若しくは南東沖合から極上層にのみ波及したものであると考えられる。

150m 以深では大きな水温変化は無く、1~3 台の水の分布となっている。

鉛直断面から季節躍層が 10~30m にあること、また陸棚斜面沿岸域では、沖合域に比べて成層が弱い。

参考文献

- [1] 日本海洋学会沿岸海洋研究部会編、『続・日本全国沿岸海洋誌』（東海大学出版会、1985 年）

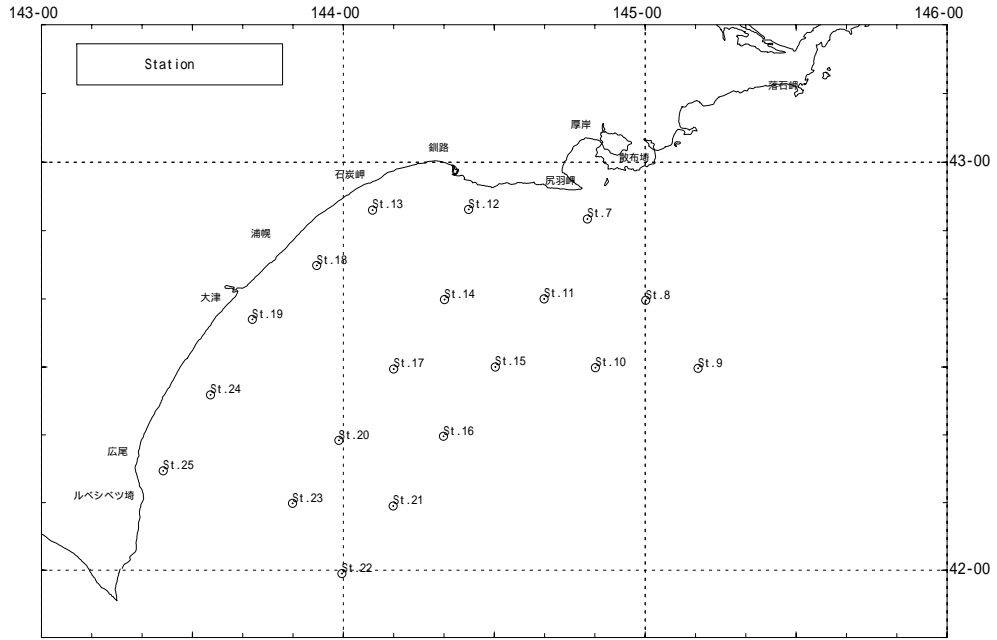


図 1: 測点図

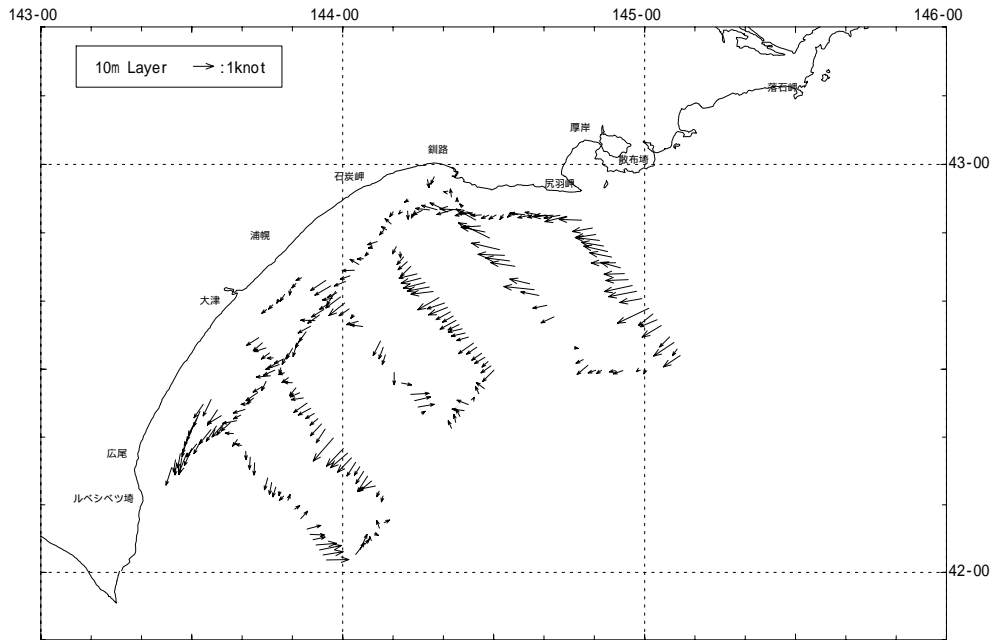


図 2.1: 海流図 (10m層)

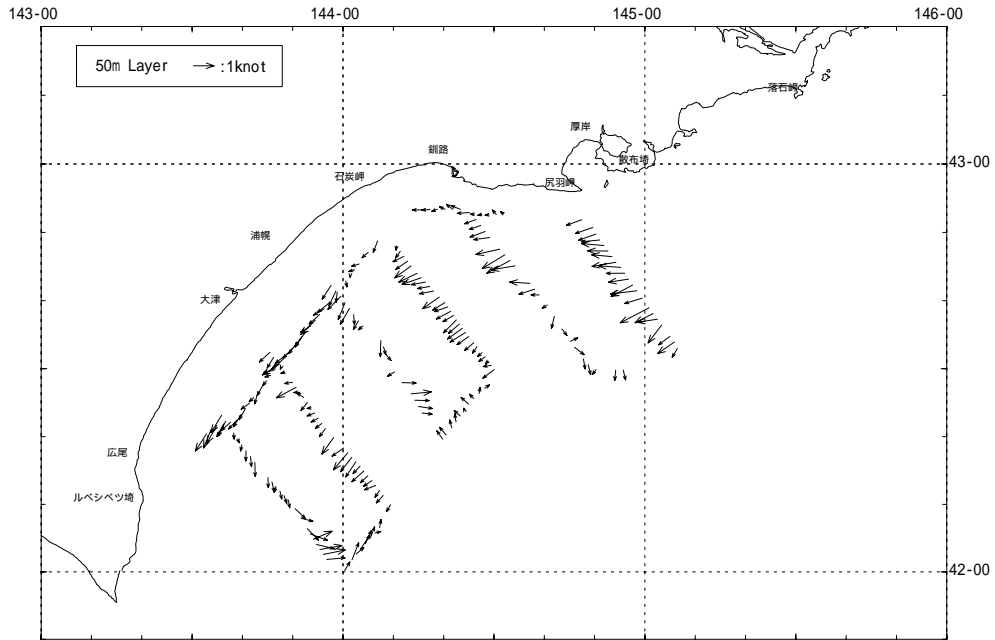


図 2.2: 流況図 (50m 層)

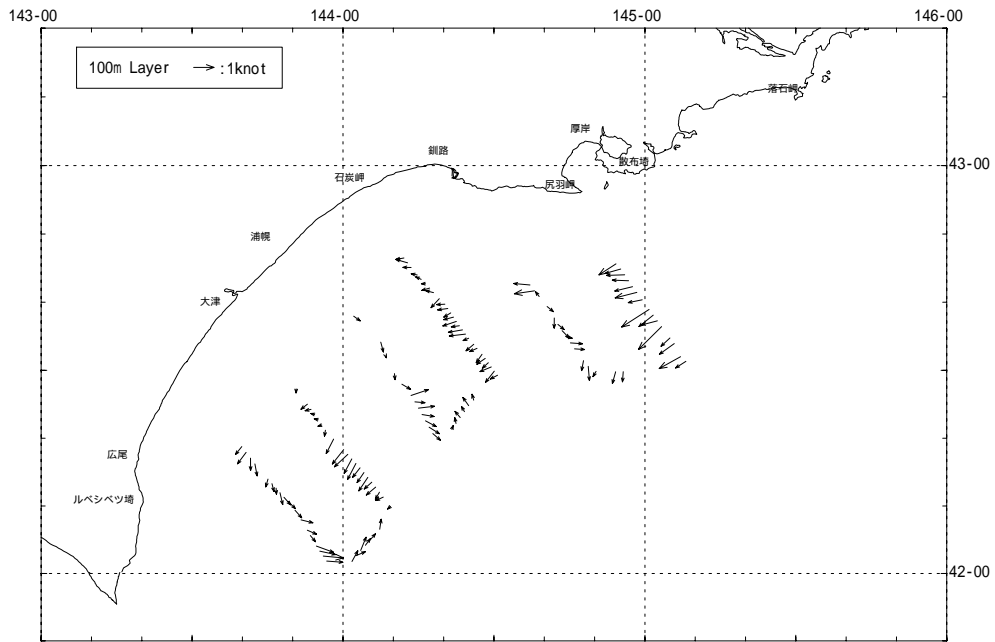


図 2.3: 流況図 (100m 層)

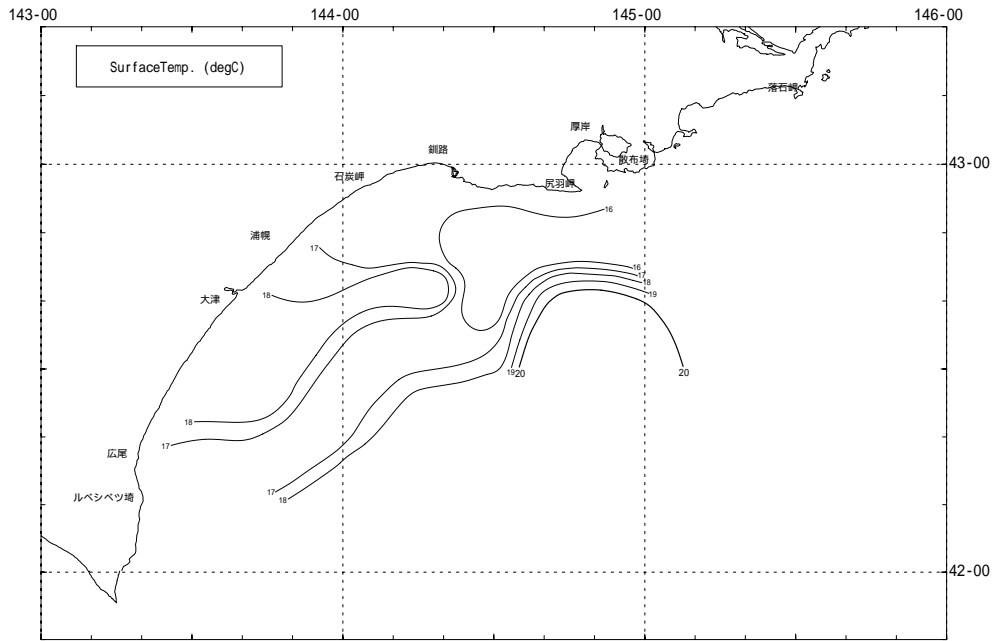


図 3.1: 水温水平分布図 (表面)

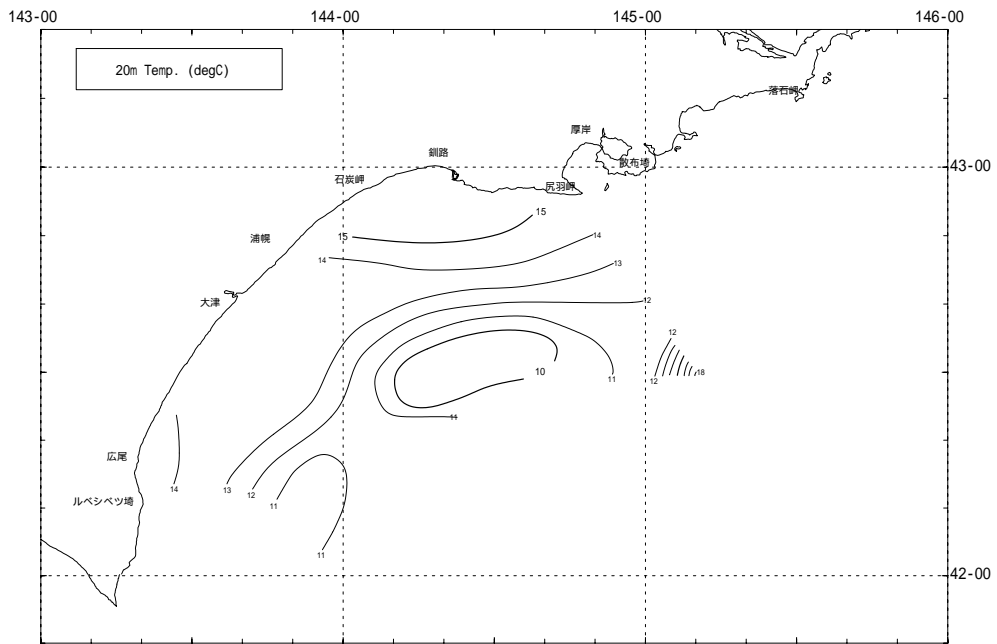


図 3.2: 水温水平分布図 (20m 層)

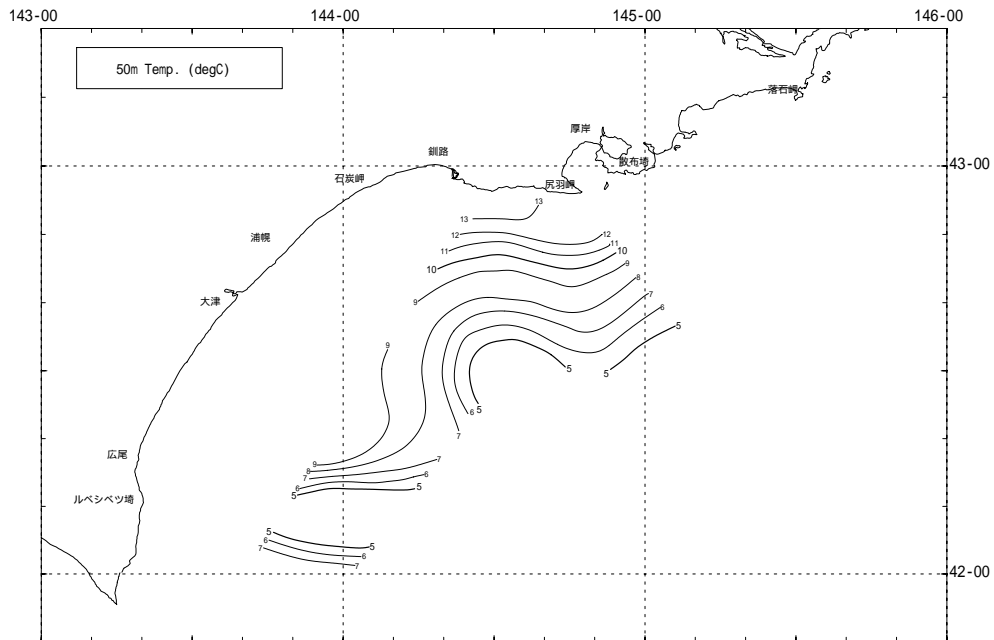


図 3.3: 水温水平分布図 (50m 層)

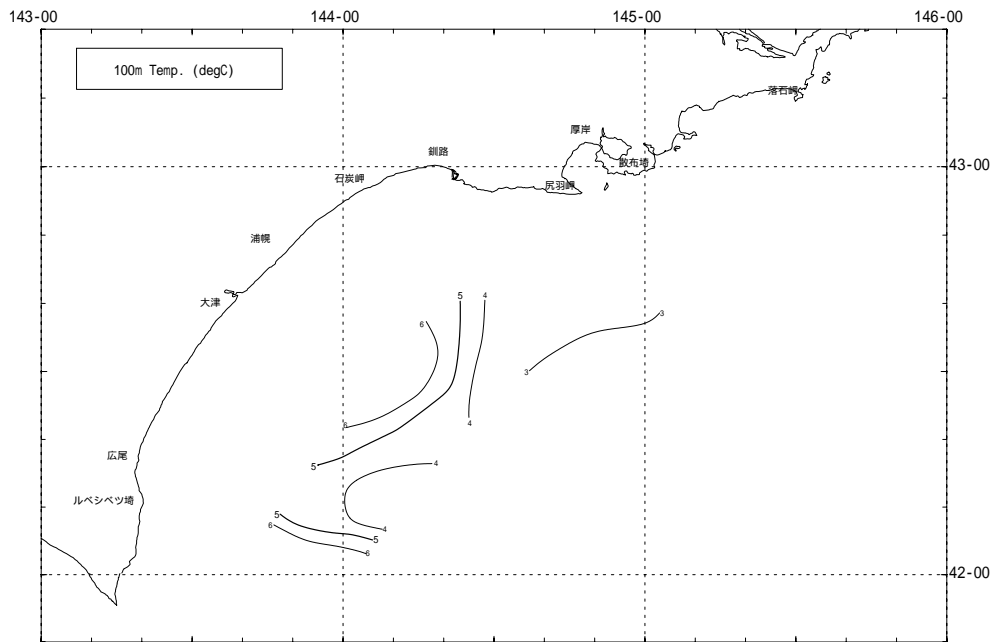


図 3.4: 水温水平分布図 (100m 層)

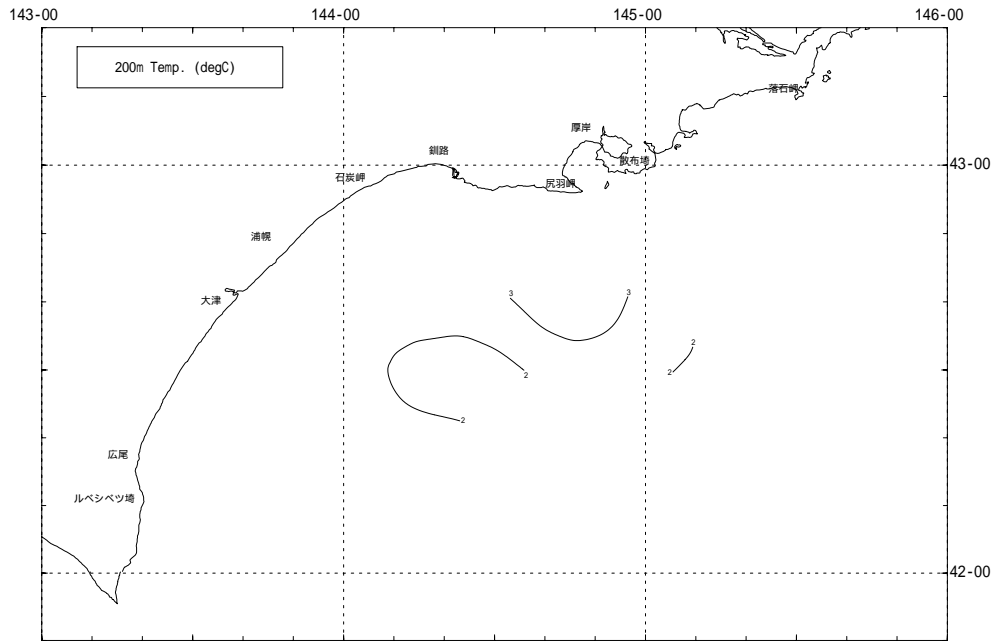


図 3.5: 水温水平分布図 (200m 層)

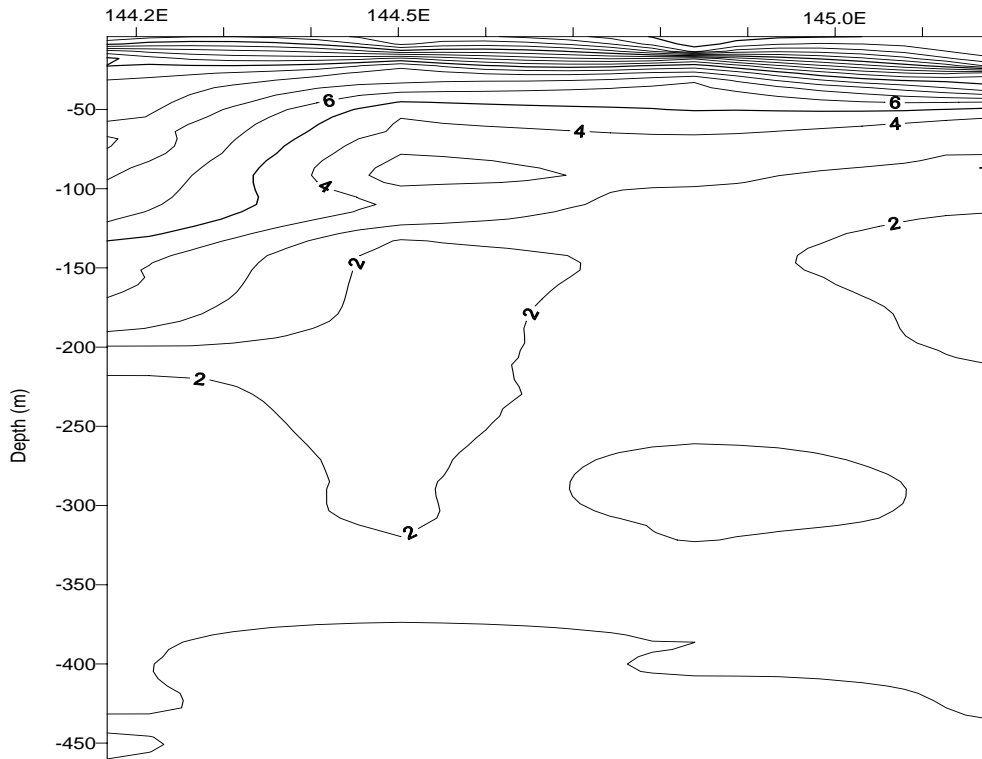


図 4.1: st.09 - st.17 における水温鉛直断面分布図

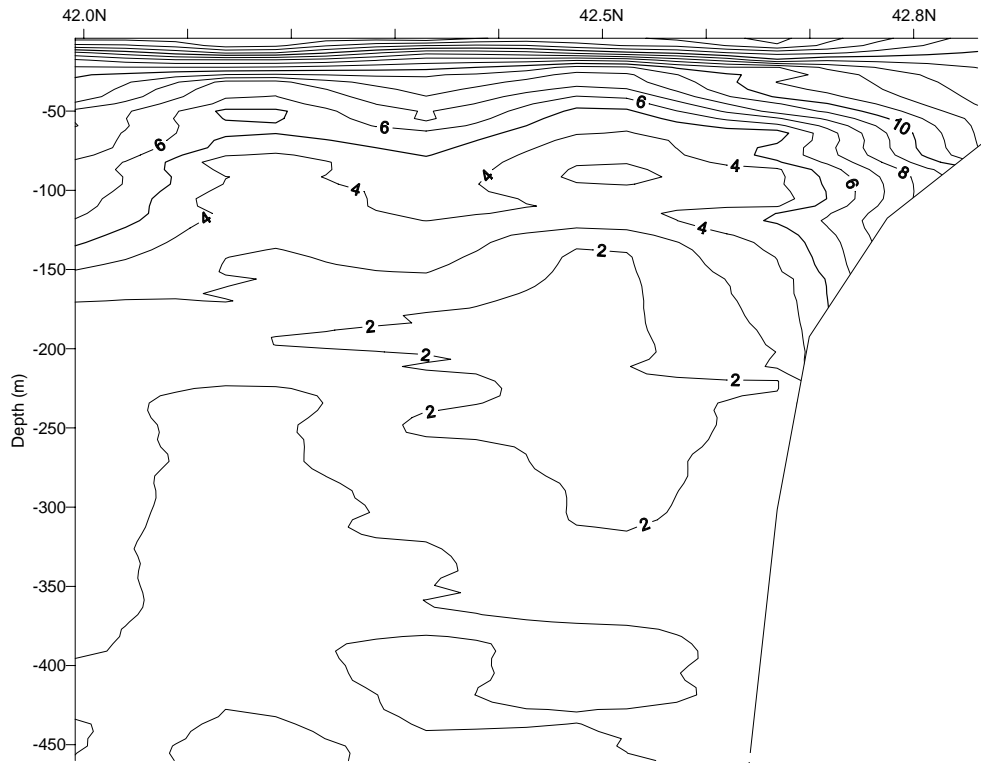


図 4.2: st.07 - st.22 における水温鉛直断面分布図

表 1: XBT, ADCP 観測成果表

st. No	DATE	TIME (JST)	LAT.(N)	LONG.(E)	WIND		WAVE Class	ATMOS (hPa)		Temp. (degC)										SL (m)	CURRENT		
					Dir.	Vel(m/s)		Dir.	Class	150	200	250	300	350	400	450	100	125	Dir.		Vel(kt)		
7	20050906	1059	42-51.7	144-48.5	E	2.5	E	1	1024.0	17.3	15.6	15.4	14.1	13.5	12.7	11.9	400	450	100	125	14	264	1.1
8	20050906	1159	42-39.8	145-00.1	E	6.6	E	2	1023.0	16.6	19.7	17.0	12.9	10.0	7.0	4.7	3.2	3.7	3.2	3.7	8	264	1.2
9	20050906	1250	42-29.8	145-10.5	NE	5.9	NE	2	1023.0	18.0	19.9	19.7	18.5	10.5	4.8	2.9	2.4	1.7	2.3	2.6	17	219	0.3
10	20050906	1400	42-29.9	144-50.1	NE	5.2	NE	2	1023.0	19.2	20.5	20.4	10.7	6.5	5.1	3.5	2.9	2.4	3.1	3.1	13	239	0.4
11	20050906	1449	42-40.0	144-39.9	NE	6.0	NE	2	1023.0	19.2	2.2	2.6	2.9	3.7	2.3	2.7	3.3	4.7	3.3	3.6	11	255	0.7
12	20050906	1552	42-53.1	144-24.9	NE	3.0	NE	1	1023.0	17.6	3.9	3.0	2.1	2.3	2.4	2.2	2.5	2.5	2.5	2.5	26	272	0.8
13	20050906	1646	42-53.0	144-05.8	SE	1.0	SE	1	1023.0	17.7	16.6	16.0	15.5	13.7							7	238	0.5
14	20050906	1824	42-39.9	144-20.1	E	8.1	E	2	1023.0	17.2	18.2	17.0	12.9	11.4	8.9	6.4	5.3	5.5	5.3	5.5	7	236	1.2
15	20050906	1932	42-30.0	144-30.2	ENE	6.7	ENE	3	1024.0	18.3	3.4	2.1	2.0	2.0	2.3	2.5	3.1	2.8	3.1	3.3	9	238	0.6
16	20050906	2022	42-19.8	144-19.9	ENE	5.0	ENE	3	1024.0	18.3	1.6	1.6	1.7	1.8	2.1	3.7	3.2	3.4	3.2	3.2	8	305	0.4
17	20050906	2114	42-29.7	144-10.0	NNE	4.5	NNE	1	1024.0	18.2	3.1	2.0	1.8	2.9	3.1	2.6	3.3	5.8	3.3	3.3	11	196	0.3
18	20050906	2227	42-44.9	143-54.7	N	3.5	NNE	1	1023.0	17.8	4.2	1.8	2.5	2.4	2.7	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	6	213	0.6
19	20050906	2314	42-37.0	143-41.9	NE	5.5	NE	1	1023.0	17.2	18.1	16.0	13.9								7	233	0.2
20	20050907	0052	42-19.2	143-59.1	NE	7.0	NE	2	1021.0	17.1	16.9	15.4	11.4	10.2	9.4	7.0	5.3	4.2	5.3	4.2	10	217	1.4
21	20050907	0148	42-09.5	144-09.9	NE	6.3	NE	2	1021.0	18.9	2.8	2.7	2.0	2.9	3.1	2.4	2.9	3.2	3.2	3.2	11	171	0.8
22	20050907	0240	41-59.5	143-59.7	N	8.4	N	3	1019.0	18.5	2.8	2.0	3.3	3.3	3.5	3.5	4.7	5.6	4.7	4.7	7	041	0.6
23	20050907	0339	42-09.9	143-49.9	NNW	9.3	NNW	3	1019.0	12.0	4.0	2.6	2.6	2.8	2.7	3.3	2.9	2.8	2.9	2.9	10	081	0.6
24	20050907	0501	42-25.9	143-33.6	NNW	7.7	NNW	3	1019.0	16.4	2.3	2.2	2.7	2.3	2.4	2.9	3.3	2.8	3.3	3.3	10	243	0.6
25	20050907	0552	42-14.7	143-24.2	NNW	5.6	NNW	3	1019.0	15.7	16.8	15.6	14.1	13.5							9	206	0.6